

中川区要望事項・申し合わせ事項

愛知学区

1 要望事項 (令和7年度)

1	<p>「名古屋市役所DX基本方針」にもとづく、4つの領域13の施策と紐づく事業展開のうち、領域④：組織・風土の施策13「デジタル人材」育成の範疇にカバーされる、地域活動への展開の中心となる「区政協力委員制度」のDX(変革)推進役となる<u>DX化推進リーダーの制度化</u>。</p> <p>「地域住民のDXマインド・リテラシーの醸成」を図る学区内DX推進リーダーの育成</p> <p>「情報システムの安全性と個人情報の適正な取り扱いの確保」と行政のDX化推進を図り、それを維持・継続するには、学区内にある程度専門的に対処できる4～5名のDX化推進リーダーの選任・配置が必須であり、「身分・職務及び任期・報酬」を明確にし、委嘱状を交付する制度化を図り、「デジタル人材」の育成により名古屋市役所&市民のDX推進を加速する。</p> <p>名古屋市247学区中58学区がホームページを、中川区では24学区中6学区がすでに立上げ学区の地域活動の重要なインフラとして活用している。「地域によって実情が異なる事から丁寧に進めていく必要がある。」との昨年度の回答でありましたが、すでに20%を超える学区が立上げ活用している。公的な委嘱があることで、若い人にとっては参加するインセンティブが上がる。</p> <p>「地域活動のDX推進リーダー」の制度化を早急に実現して頂きたく再々度要望致します。</p>
2	<p>名古屋市高速道路黄金インター出入道路と交差する「運河通3丁目交差点信号機を歩車分離方式とする。」 黄金インター出入車両が運河通3丁目交差点にて、右折&左折によりインター出入道路へ通行し、横断歩道にて歩行者と交差し、歩行者と運転手が目視確認しながら通行する状況にあり極めて危険である。 信号機付き交差点内でありながら、信号表示通りにもかかわらず危険で安心して通行できない。 早急に横断歩行者と右左折車両との完全分離信号方式への変更を要望します。 過去に歩行者と自動車との接触事故及び右折車両間の追突事故も多々発生しています。すでに令和5年&6年度に中川警察署交通課交通規制係へ要望書を提出済です。</p> <p>日本の交差点では、毎年全交通事故の40%以上が発生しています、歩行者はその危険な交差点で自らの身を守るため青信号の横断歩道を選んで渡ります。 本運河通り3丁目交差点は高速道路</p>

へ出入する車の100%が右左折車です、青信号の右左折車両と青信号の歩行者&自転車が横断歩道上で交差し、青信号でもあるにもかかわらず双方が目視にて安全を確認し通行している状況です。歩行者の安全を右左折してくる不確実な人間（車の運転者）の注意力のみにたよる大変危険な交差点であります、交差点での死傷者事故は「青信号歩行者&自転車」と「右左折自動車」による巻き込み事故がもっとも多発している事は周知の統計的事実です。

それにもかかわらず、昨年度も中川警察署の回答書は「歩行者の安全な横断歩道の通行より通行車両の渋滞が悪化し交差点が機能しなくなる恐れがある。」との回答であり「道路交通法第1条」道路における危険を防止し、その他交通の安全と円滑を図り、及び・・・。」を無視した、安全よりも車両の渋滞解消対策を優先する回答でした、再々度要望するものであります。

幸い、重大な死傷者事故は起きていませんが、事故が発生した後に慌てて歩車分離式に変更するといった後手対策にならないよう強く要望致します。

又、添付するPDF資料3/4ページのように警察庁が半年間、全国100箇所の交差点を抽出した歩車分離信号の試験運用の実施結果では、懸念されている交通渋滞はむしろ2%減少したとの報告があります。中川区は交通事故の死傷者数が名古屋市内ワースト3位内の常連です、事故を未然に防ぐ対策として、こうした右左折車両の多い交差点について早急に実施をお願いします。



歩車分離信号 20
081115_04_03.pc

名古屋高速道路公社において、令和6年1月に黄金出入り口の整備を踏まえた「交通量調査」を実施いたしましたが、その結果についても1年4か月経過した現在なんの説明もありません。令和7年5月26日（月）説明がありましたが、調査した数値的なデータによる説明なし。

中川消防署日置出張所の前に「押しボタン式信号機付横断歩道」の設置

3 該当箇所は押しボタン信号機の設置には適さない場所との回答がありましたが、明石通りは運河通&五月通りと同じ6車線道路であります、通行車両も極めて少なく、定周期信号とする必要はないと考えます、通行量も考慮せず地図上でみた6車線道路であり押しボタン信号機が適さないと言えるのでしょうか。また、出動回数が増加している救急車の南方面出動は北側信号機をUター

ンし現場へ直行する事となり10秒近く遅延となっている事、周辺に居住する住民は出動サイレンの時間が長くなり睡眠の妨げになっているとの苦情もあります、**消防署前の中央分離帯の遮断は本来の目的に適っているのか今一度再検討して頂きたく要望します。**

また、警察としては、「横断歩道や押しボタン式信号機の設置が事故の危険性を高めることは避けなければならない」との回答がありました、当然の考えと理解致しますが 交通標識・道路標示で指示・規制のされていない危険で交通事故の発生が予測される個所については、警察署はどのように処置をお考えでしょうか？

明石通り&中京通りの中央分離帯の**植栽が枯れた場所及び柵が壊れた場所の通行遮断柵の応急対策柵は実施して頂きました有難う御座います。**しかしまだ7割程度の柵しか対策してありません、3割の柵は未実施です、横断歩行者の安全意識を高めるべき通行遮断柵設置を促進願います。尚、令和7年5月22日に中川警察署交通規制係・中川土木事務所所長補佐に面談して頂きました「押しボタン信号の危険性等」の説明をされました、危険であれば既存の設置済の信号機の廃止をする方針を明確にして頂きたく要望致しました。

愛知小学校通学路安全対策について、令和7年度通学路安全対策要望事項として15項目について小学校より教育委員会へ提出しています。内9項目は道路標示等補修項目、6項目は昨年度D判定にて却下された通学路の安全対策として再度要望するものです。

4 **通学路色別表示**により自転車を含む車両運転者へ**通学路であることの注意喚起**により事故発生の未然防止を図りたく宜しくお願い致します。

尚、3項と同様に中川土木事務所・中川警察署の担当責任者に面談し詳細説明させて頂きました。

2 申し合わせ事項 (委員相互間で共有したい事項、取組方針などをお書きください)。

学区活動の「DX化推進リーダー」の制度化、スキルのある任意のボランティアに依存するのではなく「制度」として明確化する。「スポーツ推進委員委員」制度に準ずるものが適正と考える。

☞ 5月30日(金)までに地域力推進課へ提出ください。